

## “重大事故”が多発する「薄暮れ時」に要注意

急激な明るさの低下

デイ・ライトで、歩行者に「車の存在を知らせる」

## <取り締まり強化！ スピード・一時停止>

平成27年 秋の全国交通安全運動

期間:2015/9/21(月)~30(水)

## トラックの交通事故防止や労災防止へ大会 運送業者ら500人

2015年09月21日  
秋の全国交通安全運動(21~30日)を前に、トラックによる交通事故防止や労災事故防止を呼びかける大会が20日、大分市内で開かれ、運送業者や運転手ら約500人が参加した。被害者になりやすい子どもを代表し、小学2年の女兒(7)が「横断歩道で見かけたら安全に渡れるように見守ってください。悲しい事故がなくなるように祈っています」と呼びかけた。全員で「交通・労働災害ゼロゼロ運動を推進しよう」とシュプレヒコール。県トラック協会の会長は「事故ゼロは社会的使命で我々の悲願。総力を挙げて取り組む」と語った。

## 「秋の交通安全運動」中 2名の死亡事故

①信号の無い交差点、出会い頭に衝突

②自転車の高齢男性、はねられ死亡

2015年09月22日

秋の交通安全県民運動が始まった21日、県内各地では県警などが事故防止を呼びかける街頭キャンペーンを行ったが、事故が相次いで2人が死亡し、厳しいスタートになった。

21日午前11時半頃、佐賀県の交差点で、自営業女性(62)の乗用車と、会社員の男性(25)の乗用車が出会い頭に衝突した。女性の乗用車の助手席に乗っていた、アルバイト店員の女性(55)が出血性ショックで死亡、自営業の女性は頭部骨折などの重傷。男性にけがはなかった。警察によると、現場は信号機のない交差点。いずれも直進して交差点に進入してきたという。

また、21日正午頃、佐賀県で、自転車に乗っていた男性(78)が、女性(25)の乗用車にはねられ、頭などを強く打って搬送先の病院で死亡した。

ドライバーは、“こまめに休憩！” “重大事故”が発生してからでは、“遅い”

2時間ごとに、15分休憩！

大型スーパー付近、高齢歩行者の“危険横断”に注意！

トラック事故の特徴 “追突事故”が多い 追突事故 ⇒ 全事故の50%

○子供の飛び出しに要注意！

○スピードを落として、しっかり安全確認！

バック時は 降りて確認 乗っても確認

交差点 「右左確認/よ~し！」

## “駐車場”から出る時、歩道の高齢姉妹はねる 1人死亡

(2015年09月21日)

20日正午すぎ、岩手県の駐車場から飛び出してきた乗用車が横断歩道の信号待ちをしていた女性2人をはねました。はねられたのは姉妹で、無職女性(84)が頭などを強く打ち死亡しました。82歳の妹も足の指の骨を折る重傷を負いました。警察は乗用車を運転していた臨時職員の女性容疑者65歳を過失運転傷害の疑いで現行犯逮捕しました。乗用車は駐車場を出る際にポールにぶつかっていて、2人をはねたあと国道の向かい側の柵に突っ込んだとみられています。

## 午後3時 横断歩道のない交差点、“右から横断”

大型トラックにはねられ、自転車の女性のはねられ死亡

(2015年09月19日)

18日午後3時ころ、岩手県の交差点(横断歩道無)を自転車で横断していた79歳の女性が、左から来た(自転車は右から横断)大型トラックにはねられて死亡しました。警察は大型トラックを運転していた37歳の男性に話を聞いて事故の原因を調べています。

## 横断歩道から40m離れたところ “右から横断”の76歳の男性死亡

(2015年09月21日)

20日午後6時40分ごろ、富山県で歩いて道路を横断していた無職の男性(76)が左からきた乗用車にはねられました。男性は病院に運ばれましたが、全身を強く打ち死亡しました。男性は、横断歩道からおおよそ40m離れたところで、中央分離帯を越え、歩いて渡っていたということです。警察は乗用車を運転していた27歳の男性から話を聞くなどし、事故の原因を調べています。